

秋田県立横手高等学校定時制課程「青雲館」のホームページを訪ねてくださりまして、ありがとうございます。

本校は明治31年の創立以来、今年で120年を超える秋田県内屈指の伝統校で、定時制課程は平成18年に旧横手工業高等学校定時制課程が横手高校に移管されて誕生しました。平成20年には現在の新校舎「青雲館」に移転して今年で13年目を迎え、地域の皆様にも信頼される学校として歩んできました。定時制の特色を生かして、働きながら高校生としての勉学に励んだり、転編入学によって高校の学習を学び直しながら、多くの生徒の皆さんが充実した高校生活を送っています。

本校の特色をいくつか紹介しましょう。

特色1：本校は単位制の高校です。

多くの高校は学年制を採用し、その学年で取得すべき単位を取れないと進級も卒業もできません。しかし、単位制の本校では一度取得した単位はずっと有効で、合計74単位以上取得すると卒業できます。

特色2：本校は二部制の高校です。

I部は午後の時間帯を中心に、II部は夜の時間帯を中心に学習をします。ですから、学校に登校している時間帯以外でアルバイトをすることも可能で、自分の生活スタイルに合った部を選ぶことができます。

特色3：本校には三修制（3年で卒業できる制度）があります。

定時制は普通4年間の学習で卒業できますが、本校では他部の授業を選択したり、通信制を利用したりすることで、全日制と同じ3年間で卒業することもできます。近年では半数以上の生徒がこの制度を利用しています。

特色4：本校は部活動や学校行事も盛んです。

運動部・文化部ともに全国大会まで進出して活躍する部も多く、地域清掃や「かまくら作り」をはじめとしたボランティア活動も盛んです。また、地域の皆様と防災訓練や避難所開設訓練を行って、地域と共に歩む学校として信頼されています。

特色5：一人ひとりの進路を実現します。

就職はもちろん、公務員試験合格や四年制大学等への進学も実現するなど、先生方が全力で進路指導に臨み、進路志望達成を応援します。

横手高校青雲館では、皆さん一人ひとりの「学び」を支援し、社会で胸を張って活躍してもらいたいと願っています。興味のある方はぜひ青雲館を見学してみてください。

令和2年4月 第46代校長 木村利夫